

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

- ・特に注意していただきたいこと..... ①
- ・各部の名称..... ②
- ・特長..... ③
- ・設置状態の確認..... ④
- ・ご使用法..... ⑤
- ・凍結による器具の破損を防ぐために..... ⑥
- ・安全装置が作動したときの処置方法..... ⑦
- ・日常の点検とお手入れ..... ⑧
- ・故障・異常の見分け方と処置方法..... ⑨
- ・保管（長期間使用しない場合）..... ⑩
- ・アフターサービスのお申し込み..... ⑪
- ・仕様..... ⑫



大阪ガス

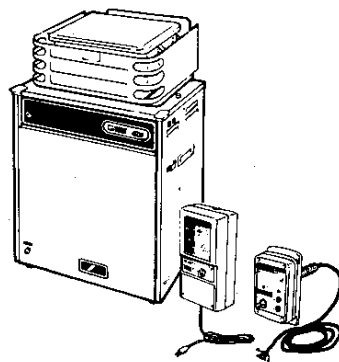
ガス風呂釜

〈電子コントロール比例制御方式〉
〈セントラル給湯機能付き〉

取扱説明書

31-040型

《BL認定品》



《優良住宅部品認定品》

ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



使用中は、熱
くなります。
手をふれない
でください。



空だきには十分
注意しましょう。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

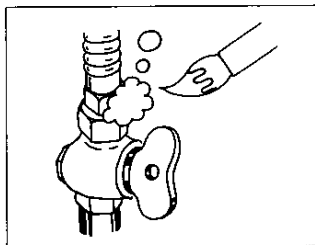
●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

特に注意していただきたいこと②

使用上のご注意

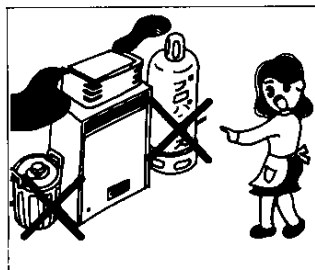
①ガス漏れ予防

- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。

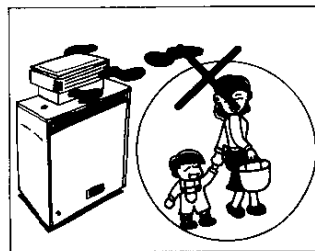


②火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、ポリバケツ、ゴミ箱、家具、揮発油など）を絶対においたり、近づけたりしないようにしてください。



- 火をつけたままで就寝、外出は、絶対にしないでください。



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

※風呂釜の器具正面下側に貼付されている銘板に表示してあるガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。大阪ガスが供給しているガスは、都市ガス6C(4500kcal/h)、都市ガス6A(7000kcal/h)、都市ガス13A(11,000kcal/h)の3種類です。

※転宅されたときは供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

※一致しないときは、お買い上げ店、大阪ガス支社またはガスサービスショップなどにご連絡ください。

銘板(例) 都市ガス用の場合

RFS-5(G)-A
屋外用
都市ガス用6C
ガス消費量 kcal/h
製造番号
製造業者名

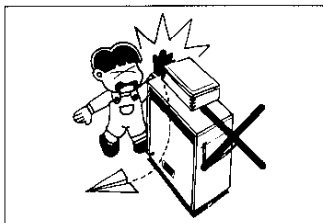
RFS-5(G)-A
屋外用
都市ガス13A用
ガス消費量 kcal/h
製造番号
製造業者名

特に注意していただきたいこと④

(3) やけどのご注意

ご使用中、および使用直後は排気筒や器具本体と天板部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。

特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



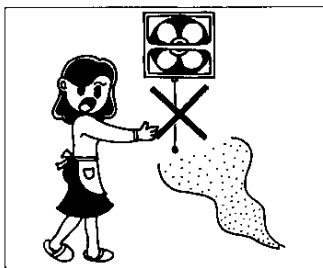
④ 換気のご注意

お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。



⑤ ガス事故防止

・ガス漏れに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元コックを閉じ、窓を開けて換気を行い、販売店、もしくは大阪ガス各支店にご連絡してください。



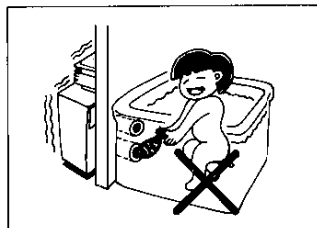
・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具にふれたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差し等）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

特に注意していただきたいこと③

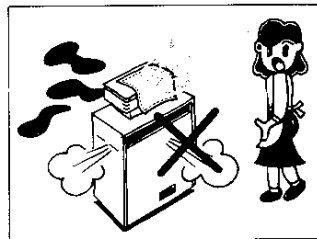
③ 過熱予防

(1) 循環パイプについて

・風呂釜と、浴そうを接続している上下の循環口をタオルなどで、ふさがないようにしてください。お湯が循環しなくなり、器具が過熱して危険です。



・屋外設置器具の排気トップの上や器具本体に物をのせると、給気口や排気口がふさがれ、不完全燃焼の原因にもなり、過熱の危険がありますから絶対にのせないでください。



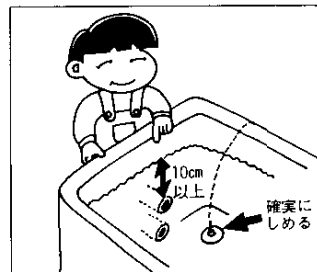
(2) 空だき注意

お風呂を空だきさせないようにご注意ください。そのため次のことを必ず実行してください。

※浴そうの排水栓は確実にしめてください。

※風呂釜に点火する前に、もう一度水面が上部循環口より10cm以上高くなっているか確かめてください。

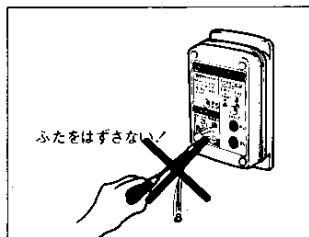
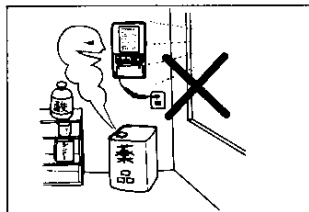
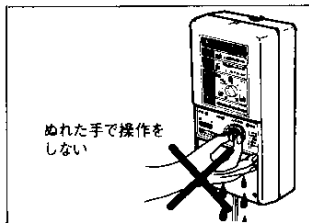
※万一空だきしたときは、メインコントロールの「電源スイッチ」を「切」にして15分以上待って（水位を確かめて）から再点火してください。



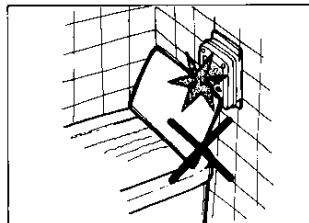
特に注意していただきたいこと⑥

(2)メインコントローラについて

- メインコントローラはぬれた手で操作しないようにしてください。
- メインコントローラのヒューズを取替えるときは必ず電源スイッチを「切」にしてから取替えてください。ヒューズは必ず正しいアンペアの物を使用してください。
- メインコントローラのそばに薬品（シンナー・塗料・油・アンモニア・酸類など）を置かないようにしてください。
- 落雷のおそれのあるときは使用を中止し、メインコントローラの電源コードをコンセントから抜いてください。



- 浴そうのふたなどを浴室用コントローラ（特につまみなど）に当たらないでください。

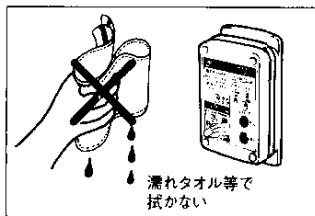
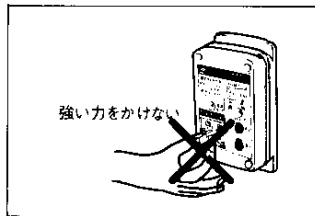
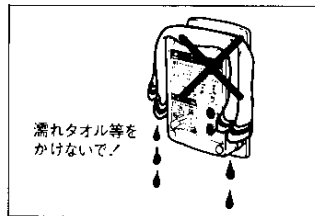


特に注意していただきたいこと⑤

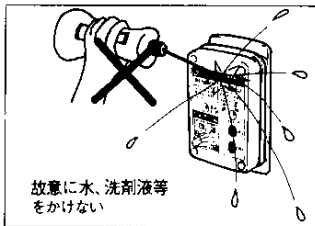
⑥コントローラについてのご注意

(1)メインコントローラ 浴室用コントローラについて

- 濡れタオルなどを絶対にコントローラにかけないでください。
- 電源コードやリモコンケーブルが家具などにはさまれたり、鋭いかどに当たらないようにしてください。
- つまみ、押しボタン類はかるく操作し、絶対に強い力をかけないでください。
- 掃除するときにはかたくしぼったぞうきんで軽く拭いてください。



- (注)故意に水、洗剤液（石けん水・健浴剤・タイル洗剤など）をかけないでください。内部に入りますと、いちぢるしく性能が悪くなり故障の原因になります。

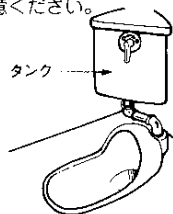


⑩ 日常の点検・お手入れ

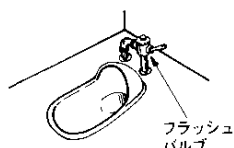
器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、お手入れは必ず行ってください。(点検、お手入れの方法については21ページをお読みください。)

① その他のご注意

- ・2ヶ所以上で同時にお湯を使用した場合、配管のやり方や給湯配管先の蛇口の開き具合によってそれぞれの蛇口からのお湯の量異なる場合があります。特にシャワー使用時は給湯配管先の蛇口での使用はさけてください。
- ・お湯をお使いになるときは、使い初めはぬるく断続して使用する場合の初めは「あつい」お湯がでますから、てはじめのお湯を直接身体にかけないで湯温が安定してからご使用ください。
- ・器内に長時間たまっていた水は飲用または調理に用いないでください。
- ・湯沸器を使用中(特にシャワー使用中)水洗トイレをお使いになりますと、湯温が急に変化する場合があります。図-Bのような水洗トイレの場合は特にご注意ください。



〔図-A〕
タンク式の場合は問題ありません。



〔図-B〕
フラッシュバルブの付いている場合には、水道直結配管になっていますので、湯沸器に影響があります。

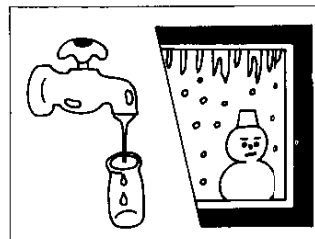
- ・水道の元せんや、ガスの元コックはしばって使わないでください。ガス量をしばると熱効率が落ちたり、不完全燃焼をおこします。また水道元せんをしばるとメインバーナーに火がつかなくなったりしますので、必ず「全開」でお使いください。
- ・この器具はAC100V電源用ですので、他の電源では使用しないでください。
- ・停電の場合
ご使用中に停電した場合は、器具は使用できません。
通電しましたら操作手順にしたがって点火操作を行ないご使用ください。

⑦ 使用後の処置

- ・器具をご使用にならないときや、外出前、またおやすみの前には、万一の事故がないように必ず元コックをしめてください。

・冬期の凍結防止

冬期器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために、水抜きを必ず行うか、給湯蛇口から水を出しっぱなしにするかなどして、凍結を防止してください。(詳しくは18ページを参照)



〈ご注意〉

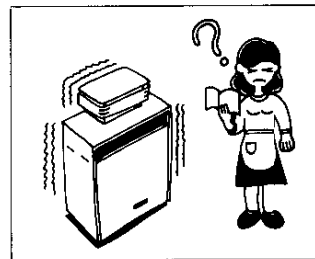
- ・器具の給水示せんは水抜きをする場合以外は絶対にしめないでください。
- ・この風呂釜には、万一凍結防止処置を忘れた場合、自動的に器外に少量の水を流出する低温作動弁が付いていますので、水抜きの場合以外は、絶対に給水の元せんをしめないでください。

⑧ 健浴剤や洗剤についてのご注意

※イオウ、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

⑨ 異常時の処置

ご使用中にふたんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。(故障・異常の見分け方と処置方法は23ページをお読みください。)



特 長

- ① この商品は建設大臣より優良住宅部品の認定をうけたBL認定品です。
- ② 給湯器能力は13号～4号で、電子回路と「比例制御ガス弁」の働きで湯量をかえても安定した湯温が得られる自動温度調節式です。
- ③ 常火パイロットをなくし湯せんを開けるだけでパイロットバーナーに点火し、自動的にメインバーナーが着火するダイレクト着火式ですから、パイロットバーナーのつけっぱなしによるガスのムダをなくしました。
- ④ 電子遠く操作式の採用により、メインコントローラ（台所または洗面所等）で湯温調節が出来ますし、浴室用コントローラでも湯温調節・風呂の点火、消火が浴室の中から操作できます。
- ⑤ 浴室用コントローラの優先回路の採用により安心してシャワーが使えます。
- ⑥ 風呂と給湯器は同時に使用できます。
- ⑦ 安全のため次のような安全装置が組込まれています。

・パイロット安全装置(熱電対式)

パイロットバーナーに点火されないかぎり、メインバーナーにガスが流れず、万一パイロットバーナーが消えた場合でも機器内のガスは、すべて自動的に止まります。

・風呂釜過熱感知スイッチ

浴そうに水が入っていなかった時や空だきの恐れがある低水位になった場合、異常温度を検出して機器内のガスはすべて自動的に止まります。

・給湯器過熱感知スイッチ

万一、給湯器が異常な温度になった場合その異常な温度を感知し、ガスをとめてしまいます。

・ガスガバナ

地域や時間によって変動するガスの圧力を常に一定に保ち、バーナーの炎を安定させて燃やす働きをします。

・水ガバナ

水圧の変動で湯温が変化するのを防ぎ、ガス圧調整器の作動を助ける役目をしますから温度の安定したお湯を使うことができます。

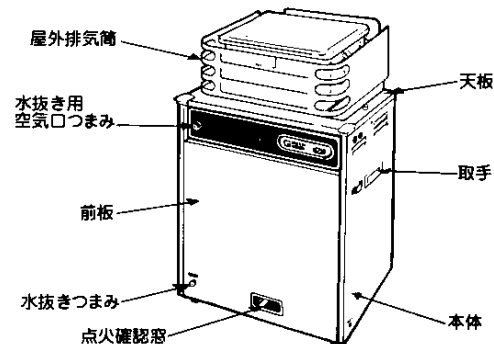
・異常警報装置

異常時にランプが点滅し異常をお知らせします。

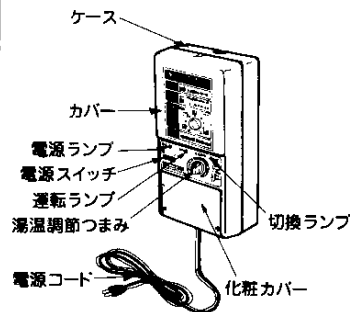
・凍結予防装置

低温作動弁により少量の水を器外に流し凍結を予防します。

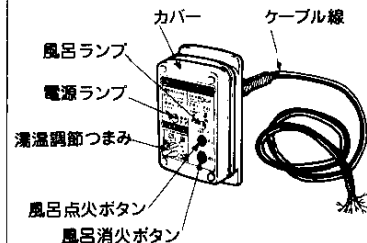
各部の名称



メインコントローラ



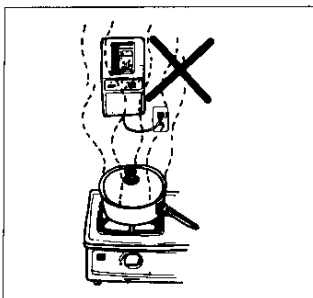
浴室用コントローラ



設置状態の確認②

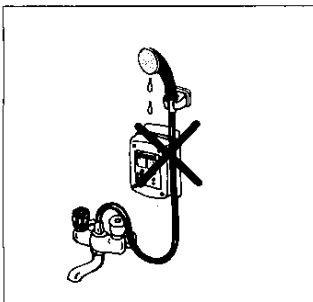
①メインコントローラの取付場所について

- (1) ガステーブルやコンロなどの上に、メインコントローラを設置しないでください。
- 異常に加熱しますと、電気部品が破壊します。
 - 外装にさびや変形が生じます。
 - 油分や空気中のほこりが内部に入りますといちじるしく性能が悪くなります。



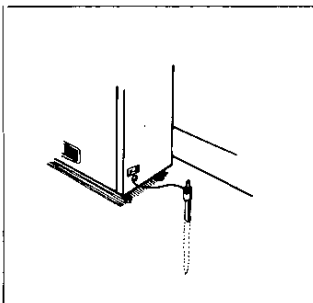
②浴室用コントローラの取付場所について

- シャワーの水(湯)や水しぶきが直接かかるような場所には取付けないでください。



③接地工事(アース)について

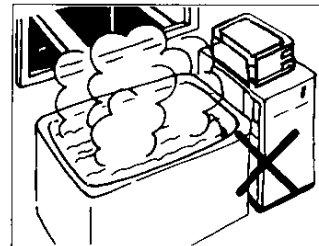
- 器具と対地面に接地工事(アース)がなされているか確認してください。
- 接地工事(アース)がなされていない場合は、お買上げの販売店もしくは、大阪ガス各支社までご連絡ください。



設置状態の確認

- この製品を設置する場合は設置基準に従って設置してあるか確認してください。
- くわしくは同梱の工事説明書を参照してください。

- この風呂釜は浴室外に設置してあるか確認してください。



31-040型 屋外設置型

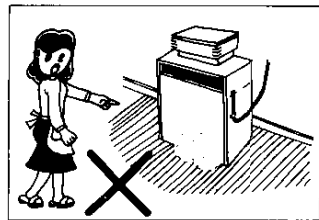
- この風呂釜は屋外に設置してあるか確認してください。



- 屋外排気筒上端から上方60cm以内に軒などの障害物がないように設置してあるか確認してください。




- この風呂釜は必ず不燃物の上に設置してあるか確認してください。

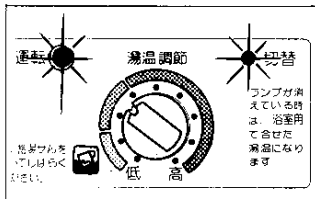


ご使用方法②

②湯温調節のしかた


①メインコントローラでの湯温調節

- ①メインコントローラの「切替ランプ」が点灯していることを確認してください。
- ②「湯温調節つまみ」を  の位置にセットしてください。



- 注** メインコントローラの「切替ランプ」が点灯していないときは「湯温調節つまみ」を操作しても湯温は変化しません。これは、浴室用コントローラの「湯温調節つまみ」が「切替」以外の位置にあるときです。この装置は浴室でシャワーを使用中に誤ってメインコントローラの「湯温調節つまみ」を操作し、「熱い」または「ぬるい」にお湯が変化するのを防ぐための装置です。

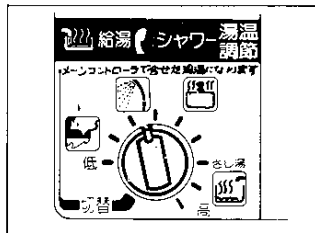
②浴室用コントローラでの湯温調節

- ①「湯温調節つまみ」を  の位置にセットしてください。

- 注** 浴室用コントローラで湯温調節しているときは、メインコントローラでは湯温調節できません。

- ②浴室で使い終わったときは「湯温調節つまみ」を「切替」の位置にもどしておいてください。これでメインコントローラの「切替ランプ」が点灯し、メインコントローラの湯温が調節できます。

- 注** 浴室用コントローラの「湯温調節つまみ」が「切替」の位置にあるときは、メインコントローラの「湯温調節つまみ」の位置の温度のお湯が出てきます。



ご使用方法

はじめてお使いのとき

- (1) ガス元コック・給水元せんをいっばい開けてください。
- (2) 給湯配管先の蛇口を開けて通水し、配管中の空気を追いだして(蛇口からスムーズに水が流れ出ることを確認してから)からご使用ください。
- (3) メインコントローラの電源コードをAC100Vコンセントにさし込んでください。

①点火

- ①メインコントローラの「電源スイッチ」を「入」にしてください。
(電源ランプが点灯します)

- 注1** このとき浴室用コントローラの電源ランプも点灯しています。

- 注2** 給湯せんを開けて水を出してから「電源スイッチ」を「入」にした場合は、安全の為バーナーには点火しません。



②お湯(シャワー)を使う場合

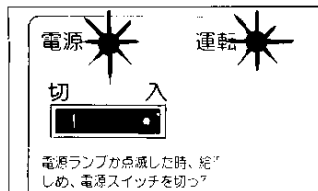
- 「電源ランプ」が点灯していることを確認し、給湯せんを開けると自動的にパイロットバーナーとメインバーナーが点炎し、お湯が出て来ます。このとき「運転ランプ」が点灯します。

- 注1** 初めてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、ガス管内のガスが空気に置換されていますので、給湯せんを開けても約20秒間で、「連続火花放電」が自動的に止り「運転ランプ」が点灯せず、お湯にならない場合があります。このようなときは、警報装置が働き「電源ランプ」が点滅しますので、いったん給湯せんを閉めて「電源スイッチ」を「切」にし再び「入」にしてから給湯せんを開けて運転ランプが点灯するまでくり返してください。

- 注2** 操作を数回くりかえしても点炎しないときは、23ページの「故障異常の見分け方と処置方法」をご参照のうえ点検してください。

- 注3** 異常を発見したときや、処置できないときは、お買上げの販売店か、大阪ガス各支社にご連絡ください。

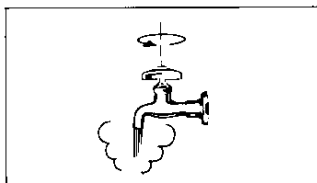
- ③給湯せんをとじると自動的にメインバーナーが消炎し、パイロットバーナーは約5分後に自動的に消炎します。



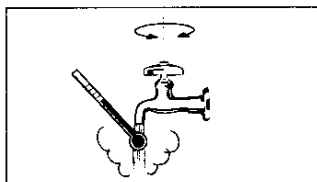
ご使用法④

④ お湯の出し方

- ① 「湯温調節つまみ」をセットされたあとは給湯せんを開けるとお好みのお湯が出て来ます。

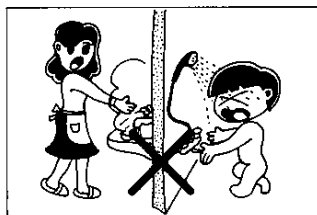


- ② 湯量の調節は普通の水道の蛇口で水を使用される要領で給湯せんを絞って調節してください。



- 注1 湯量の調節は約4ℓ/分以下に絞りますとメーンバーナーの尖が消えるようになっていきます。

- 注2 2ヶ所以上で同時にお湯を使いますと湯温のコントロール域をはずれてぬるくなることがあります。特にシャワーで使用中は同時使用はさけてください。



- 注3 季節の変化による水温の変化や湯量により湯温のコントロール域がはずれる範囲があります。

夏 期……水温が30℃近くになりますと「湯温調節つまみ」を「低」にしても湯量が少ない場合は、湯温が高くなりますので湯量を多く出してお使いください。

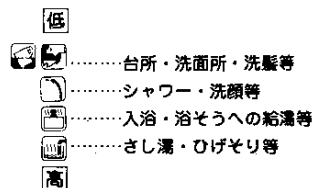
冬 期……水温の低い場合は湯量を「全開」で使いますと「湯温調節つまみ」を「高」にしても高温が得られない場合が有りますので、給湯せんを絞ってご使用ください。

- 注4 上記のように湯温のコントロール域からはずれる場合がありますし、同時に2ヶ所で使用するときそれぞれが違う湯温がほしい場合等のための給湯配管先の給湯せんは混合水栓を使用してください。

⑤ お湯のとめ方

給湯せんを閉じるとお湯がとまり自動的にガスがとまります。

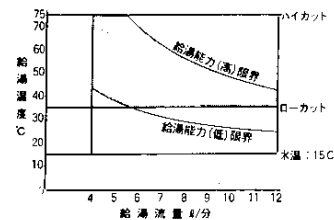
ご使用法③



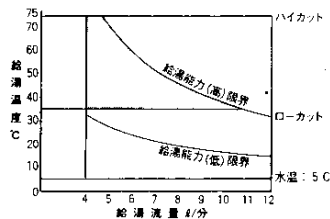
上記のマークはそれぞれお使いになるときのめやすの位置です。湯温調節つまみを「低」の方へ回すと湯温が低くなり、「高」の方へ回すとあつくなりますので、お好みの位置にセットしてお使いください。

③ 給湯湯温特性〔参考〕

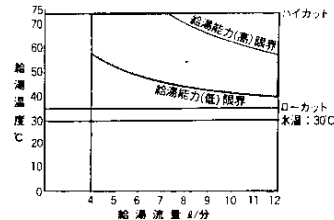
春秋期



冬 期



夏 期

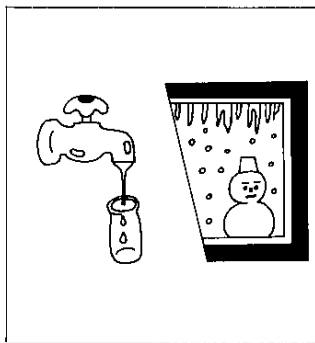


凍結による器具の破損を防ぐために

凍結のおそれのある場合のみ操作します。長期間不在される場合や寒さがきびしいとき、または寒冷地でご使用の場合には、凍結による器具の破損を防止するため必ず下記の順序で凍結防止処置をしてください。

①通水法 (給湯せんから水を流し出しにする方法で一般的な凍結防止法です。)

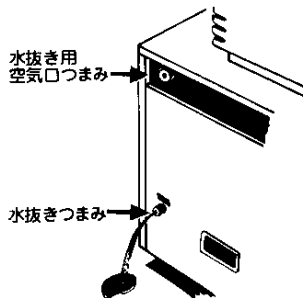
- ・メインコントローラーの「電源スイッチ」を「切」にし、給湯カランから少量の水【1分間に牛乳びん1本以上、(200cc以上)ただし寒さにより、流量が異なりますので、特に寒い日は多目に】を流しておいてください。なお流量が不安定なこともありますので、念のため30分くらい後に、もう一度流量をお確かめください。この方法で、器具本体はもちろん、給水管、バルブ類の凍結防止ができます。
- ・水を流す場合は浴そうなどのために雑用水としてお使いください。



②水抜き法 (入居前や長期不在の場合や曇り寒気の場合の凍結防止方法です。)

※この場合、器具接続部迄の給水配管の凍結防止はできません。

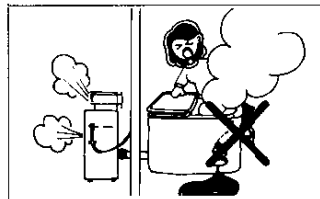
- (1) ガスおよび水道の元せんをしめます。
- (2) 蛇口または給湯配管先の蛇口を開けて水を出します。
- (3) 器具本体の水ぬきつまみを開けてから水ぬき用空気口つまみを開けて、水を十分抜いてください。
- (4) シャワーヘッドを床面まで下げてシャワーホースの水も抜いてください。
- (5) 再使用前には必ず水ぬきつまみ、水抜き用空気口つまみをしめ、もとどおりにしてから使用してください。



ご使用法⑥

③「風呂だき」をする場合

- ①浴そうに水(またはお湯)が湯当りの上端より上へ10cm以上にあることを確認してください。水(またはお湯)が少なかったり、入っていないとすると空だきになり器具の寿命を著しく短くしますから絶対さけてください。

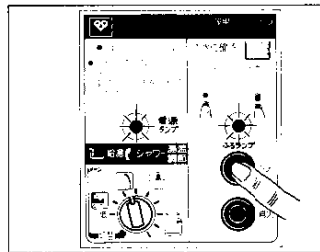


②風呂の点火

浴室用コントローラーの「電源ランプ」が点灯していることを確認し、「点火ボタン」を軽く押すと「風呂ランプ」が点灯し、風呂のメインバーナーに点火します。

注1 浴室用コントローラーで「電源」は入れられません。

注2 万一点火しなかったときは、警報装置が働き「電源ランプ」が点滅します。このようなときは、メインコントローラーの「電源スイッチ」を「切」にし再び「入」にしてから点火操作を行ってください。

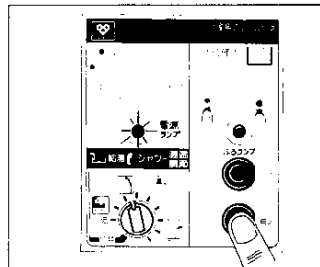


③風呂の消火

浴室用コントローラーの「消火ボタン」を軽く押すと、「風呂ランプ」が消え風呂のメインバーナーも消火します。

※風呂用のメインバーナーに着火中でも給湯配管先のカラン(蛇口)を開けるとお湯は使えます。

※ご使用が終了と「電源スイッチ」を「切」にします。このとき電源ランプが消えます。



安全装置が作動したときの処置方法

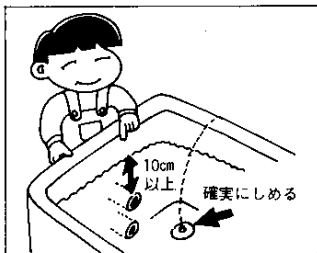
パイロット安全装置

風が異常に強い場合等に作動しパイロットが消え、ガスが自動的に止まる場合があります。このときは風が弱まる迄待つてからご使用ください。



風呂釜過熱感知スイッチ

浴そうに水を入れ忘れたときや、少なかったときは、異常温度を検知しガスをとめてしまいます。このときは、約15分程待ってから水を上部水管より上へ10cm入れて、水が漏れていないかを確認し、異常がないのを確かめてから再点火してご使用ください。



電気系統

ヒューズやブレーカ、又は漏電遮断器等の安全装置がたびたび作動するときは電気系統に異常が有りますので販売店又は大阪ガス各支社までご連絡ください。



凍結による器具の破損を防ぐために②

③凍結予防補助装置

- ・31-040(屋外設置型)
 - ・この風呂釜には、万一18ページの凍結防止処置を忘れた場合や急な冷え込みのときは、自動的に器外に少量の水を流出し、外気温度が上昇すると自動的に水が止まる低温作動弁を組込んでいます。
 - ・これは凍結の予防の為のもので低温作動弁が働いて水が流出した場合は、必ず18ページの①および②の処置をしてください。低温作動弁だけでは、冷え込みの厳しい場合や、異常寒気の場合は効果はありません。
- (ご注意)
- ・器具の中の水を抜く場合以外は、絶対に水道の元せんをしめないでください。低温作動弁が作動しません。
 - ・冬場に低温作動弁が凍結予防のために作動すると、水がたれ流されますので、器具下部の下面に排水設備を設けてください。

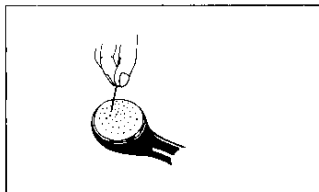
凍結したときは

- ・器具や配管が破損すると高額な修理費がかかる場合があります。(有償)
- ・凍結したまま使用すると、器具に異常が生じる場合があります。
- ・凍結がとけた後、水漏れがないのを確認してからご使用ください。

日常の点検・お手入れ②

④ シャワーヘッドのお手入れ

シャワーヘッドの噴出口がつまりますと湯量がへったり、バーナーに火がつかなくなったりしますので、ときどき針などでお掃除して通水を良くしてご使用ください。

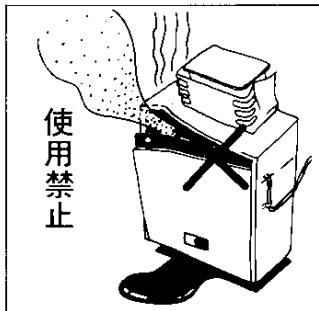


点検の結果

故障または、破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。

不完全な修理は危険です。

万一具合が悪くなって処置にこまるような場合にはお買い求めになった販売店か大阪ガス各支社にご連絡してください。



日常の点検とお手入れ

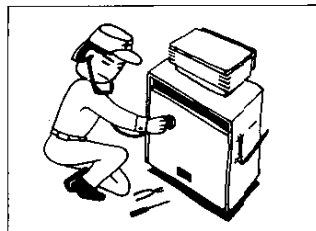
点検・お手入れの際のご注意

日常の点検、お手入れは必ず行ってください。

点検、お手入れは、やけどをしないように器具が十分冷えてからしてください。

点検とお手入れ法

① 風呂釜が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取付場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合、不完全燃焼を起こすことがあり、ときどきご使用状態で、異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止しガスの元栓を開けて販売店又は、お近くの大阪ガス支社へご連絡ください。



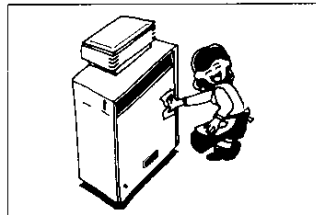
② 風呂熱交換器の掃除

ときどき浴そう内の湯当りをはずしてゴムホースで強く水を入れて、熱交換器の内部を水洗いしてください。下の循環口から水アカ等がでてきます。（ごとごとかまなりがしたり、湯アカが熱交換器内からでてくるのは内部がよれているからです。）



③ 外観の掃除

よごれには、やわらかい布に中性洗剤をつけて落とし、後をやわらかい布で空ぶきしてください。タワシなどで強くこするとキズがつきサビ等の原因になりますからご注意ください。



故障・異常の見分け方と処置方法②

現象	原因										処置方法	参考ページ
	電源ランプがつかない	運転ランプがつかない	湯温調節つまみを操作してもランプがつかない	メインコンローラの電源スイッチがつかない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない		
バーナー炎口づまり	○	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	21
炎検出部汚れ	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	21
熱交換器目づまり	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	20
安全装置が作動した	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
湯温のコントロール域からはずれている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
メインコンローラの故障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
浴室用コンローラの故障	△	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	20
点火装置の故障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20

☆印の場合は自分の手で簡単にできます。

★印またはその他ご不審な点は、販売店もしくは大阪ガス各支社にご連絡ください。

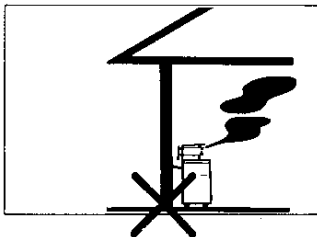
なおご連絡いただくときは、器具に貼付してございますコード番号をお知らせください。

コード銘板例

(4)31-040(U)
大阪ガス株式会社

設置環境の確認について

この風呂釜を設置された後に、増改築や転宅等で設置環境に変化が予想される場合は、販売店または大阪ガス各支社にご連絡ください。屋外設置型をそのまま屋内に設置しないでください。

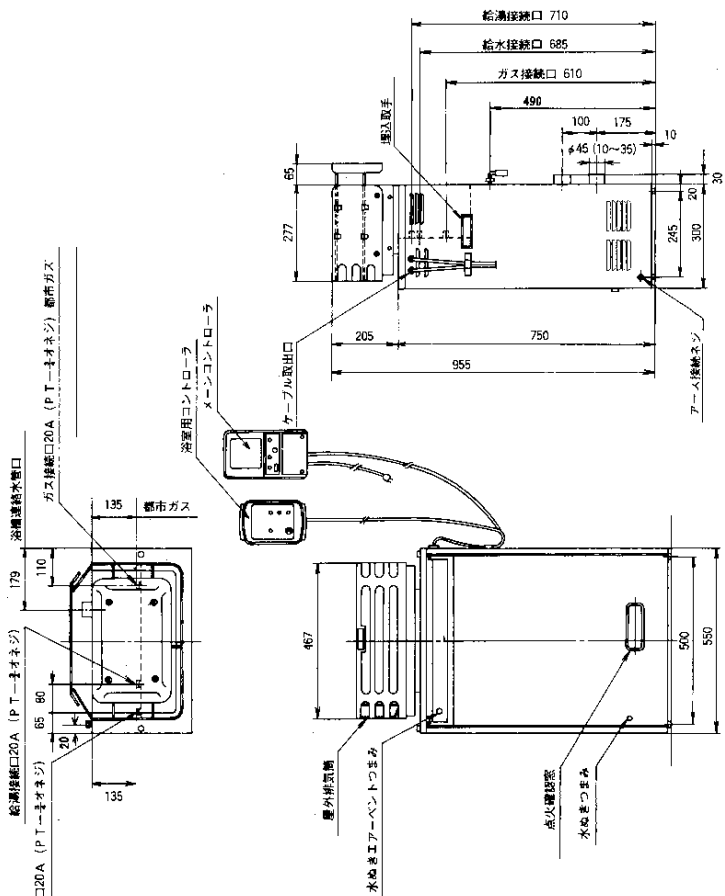


故障、異常の見分け方と処置方法

現象	原因										処置方法	参考ページ
	電源ランプがつかない	運転ランプがつかない	湯温調節つまみを操作してもランプがつかない	メインコンローラの電源スイッチがつかない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない	湯温調節つまみを操作しても湯温が変化しない		
停電している	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
AC100Vコンセントが抜けている	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
電源ランプが点灯していない	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
浴室用コンローラ側に優先がある	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	14
メインコンローラ側に優先がある	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	14
ガス元コックの開け忘れ	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
ガス元コックの開き不十分	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
LPガスがなくなりかけている	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
ガス配管中に空気が残っている	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
ガス圧が低い	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
ガス圧が高い	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
水元せんの開け忘れ	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
水元せんの開き不十分	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
水圧が低い	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
水圧が高い	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
水フィルターづまり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
水配管の容量不足	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
凍結している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
水配管中に空気が入っている	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
器具が傾いて設置されている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
上取循環パイプ下り勾配	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
給排水工事不相当	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	13
点火装置電極部汚れ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13

仕様

■寸法図 (屋外設置型)



保管(長期間使用しない場合)

- ①水道の元せんをしめてから器具内の水を全部抜いてください。
(18ページ水抜き法参照)
- ②ガスの元コックをしめ、「電源スイッチ」を「切」にし、電源コードをAC100Vコンセントから抜いてください。
- ③浴そうの水も抜いてください。

アフターサービスのお申し込み

修理・サービスについて

ご不審な点や故障などのサービスの必要なとき、または部品については販売店、または大阪ガス各支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは、故障状況とともに器具の前面に貼付してあるコード番号・ガス種もあわせてお知らせください。

保証について

この器具には保証書がついています。当社は保証書に記載してあるように、器具の販売後、器具に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に必ず応ずることを約束致します。(詳細は保証書をご覧ください。)保証書を紛失されますと無料修理期間であっても、修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間と修理について

無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。

なお、当社は販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。このガス風呂釜の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

- (1) この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- (2) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■連絡先

裏表紙の住所一覧表を参照してください。

仕様③

■使用ガスグループ消費量一覧表

使用ガスグループ		1時間当りガス消費量		
		給湯器	風呂釜	同時使用時
都市ガス	6 C	24,000kcal/h	10,000kcal/h	33,000kcal/h
	6 A	24,000kcal/h	10,000kcal/h	33,000kcal/h
	13 A	24,000kcal/h	10,000kcal/h	33,000kcal/h
LPGガス		2.00kg/h	0.84kg/h	2.75kg/h

■標準出湯量 [給水圧力1kg/cm²の場合]

湯温調節	水温15℃のとき	
		出湯量ℓ/分
60℃		4.0~7.3
43℃		4.0~11
35℃		4.8~11

(ガスの種類により出湯量は多少異なります)


仕様②

器種名	31-040(屋外設置型)	
形式の呼び	RFS-5(G)-A	
標準能力	給湯	13号~4号
	風呂	10,000kcal/h
点火方式	電気式連続スパーク点火	
給湯器	最低作動水圧	0.3kg/cm ² (本体のみの時)
	最適水圧	1.0kg/cm ² ~5kg/cm ²
	湯温調節範囲	75℃~約35℃
	制御方式	電子コントロールガス比例制御方式
遠隔操作	メインコントローラ8心線 浴室用コントローラ6心線	
外形寸法(mm)	高さ955(排気筒含む)×幅550×奥行300	
重量	本体35kg 排気筒2.1kg	
循環口取付口径	外径45mm ピッチ100mm	
接続	ガス 20A 給水 20A 給湯 20A	
排気筒	屋外用排気筒	
基準浴そう	1人用~1.5人用	
電気関係	電源	一次側 AC100V, 二次側 DC20V
	消費電力	50/60Hz 40W/40W
	電源コード	1.5m(メインコントローラより)
安全装置	凍結予防補助低温作動弁 給湯器過熱感知スイッチ パイロット安全装置 風呂過熱感知スイッチ ガスカバナ 異常警報装置 水ガバナ 温度ヒューズ 過圧安全弁	

本社・支社所在地および電話番号

本 方 サ ー ビ ス セ ン タ ー	社 ビ ル	大 阪 市 東 区 平 野 町 5 丁 目 1	電 話 大 阪	06(202)2221	〒541	
南 北 堺	支 社 支 社 支 社	大 阪 市 西 成 区 玉 出 東 2 丁 目 9 番 41 号 大 阪 市 北 区 神 山 町 1 番 11 号 堺 市 住 吉 橋 町 2 丁 2 番 19 号	電 話 大 阪 電 話 大 阪 電 話 堺	06(652)0001 06(313)1241 0722(38)1131	〒557 〒530 〒590	
淀 阪 東 京 神 奈 和 姫 東 湖 彦 長	川 神 部 戸 都 歌 路 播 岡 南 根 浜	支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社 支 社	大 阪 市 淀 川 区 十 三 本 町 3 丁 目 6 の 35 西 宮 市 和 上 町 4 番 11 号 東 大 阪 市 稲 葉 2 丁 目 3 番 17 号 枚 方 市 西 田 宮 町 16 番 17 号 神 戸 市 中 央 区 相 生 町 5-13-10 京 都 市 中 京 区 烏 丸 通 御 池 角 奈 良 市 学 園 北 2 丁 目 4 番 1 号 和 歌 山 市 本 町 1 丁 目 1 姫 路 市 神 屋 町 4 丁 目 8 加 古 川 市 加 古 川 町 粟 津 2 9-1 豊 岡 市 三 坂 町 6-5-7 草 津 市 追 分 町 字 荒 畑 6 8 0 の 1 彦 根 市 大 東 町 9 番 41 号 長 浜 市 南 興 服 町 3 番 4 号	電 話 大 阪 電 話 西 宮 電 話 河 内 電 話 枚 方 電 話 神 戸 電 話 京 都 電 話 奈 良 電 話 和 歌 山 電 話 姫 路 電 話 加 古 川 電 話 豊 岡 電 話 草 津 電 話 彦 根 電 話 長 浜	06(301)1251 0798(26)3101 0729(62)1131 0720(41)1251 078(576)5231 075(231)8151 0742(44)1111 0734(31)2481 0792(85)2221 0794(21)1801 07962(3)2221 0775(62)5311 0749(22)3131 07496(2)7171	〒532 〒662 〒578 〒573 〒650 〒604 〒631 〒640 〒670 〒675 〒668 〒525 〒522 〒526

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具せん(元せん)だけでなくガスの元せんもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製  マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先の元せんにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大 阪 ガ ス 株 式 会 社